

## 新・旧会員の交流の深化

大和会自治会会長 川勝明治



年齢の差なく交流を深める餅つき大会

白子2丁目の一部を区域とする大和会自治会について紹介いたします。当会は、世帯数229世帯で戸建て世帯129、マンション世帯100世帯の内訳で、年齢的にも相当な開きとなっております。

や、小振りの自治会ですが、会長・副会長（2名）を含め役員8名、班長14名（1年交代）で運営し、年間の事業（活動）は事業計画に基づき行っておりですが、主なものは次の通りです

## 一、ラジオ体操

7月、8月の夏休み期間に子どもたちを対象に実施し、30名前後の参加を得ています。日頃接触の機会の少ない子供たちとの交流の場となっております。

## 二、敬老事業

9月の敬老の日では、古希（70歳）を迎えられた会員の皆様に記念品を贈りお祝いしております。（現在、70歳以上の会員は75名となっております。）

## 三、餅つき大会

12月には餅つき大会を実施し、子どもたち、若い保護者夫婦に喜ばれています。

## 四、防災訓練

防災訓練は和光消防署の指導を受け、9月に実施し防災意識の昂揚を図っております。なお、一昨

秋に、防災倉庫を取得し、熊野神社のご厚意により境内の一隅に設置し、市の自主防災組織活動事業補助金の交付を受け、逐次資器材の整備を行っております。自主防災組織としては、今のところ不十分のため、自主防災組

織リーダー養成講座受講済の役員の許で強化を図っているところですが、

五、地域行事に対する協力  
江戸時代から下白子村の氏神様として鎮座している熊野神社の祭礼が10月に行われ、子どもみこし、大人みこしが出て町内を渡御しますが、子どもみこしは大人気です。また、12月には熊手市が境内に立ちますが、伝統文化の保存継承の見地から全面的に協力しております。

以上諸行事の実施を通じて、会員構成の交流の深化を図り、地域の安心・安全を図るとともに歴史的文化遺産の保全、貴重な湧水の有効利用などを検討して行きたいと思っておりますので、近隣自治会のご協力をお願い申し上げます。